

大滝前支部長に感謝状贈呈 —林家時蔵師匠の講演も—

平成20年度の城東支部定期総会は、平成20年6月21日、台東区花川戸の台東区民会館で開催された。今回の担当区台東区の副支部長・野中の司会による開会の辞で始まった。



大滝前支部長に感謝状を贈呈

出席者全員での物故者への黙祷、校歌斉唱の後、浅窪壮一支部長の挨拶、校友会会長代理である千葉県支部の川上三郎校友会本部常任委員の本部報告と挨拶、御来賓の田淵順一常務理事の挨拶とスピーチ、そして浦水会城東支部長岩田靖弘氏の挨拶をいただいた。



川上常任委員



田淵常務理事



浦水会の岩田支部長

次に、城東支部の向上発展に多大な尽力をされた大滝恵三前支部長に敬意を表し、支部より感謝状の贈呈が行われた。

照井義道氏を議長に選出し議事に入り、平成19年度の会務報告、決算報告、監査報告と続き、平成20年度の事業計画案、予算案は全会一致で承認可決された。

最後に、評議員でもある武田勇蔵副支部長より代議員会報告があり、同氏による閉会の辞でしめくり、総会は滞りなく終了した。

続いての講演会は、山田真理子副支部長による講師の紹介があり、林家時蔵氏(S47年・国文卒)が登場、「古典落語をより楽しむために」をテーマにお話しいただいた後、古典を一席楽しませていただいた。

懇親会は、高田和生代表幹事の司会により進められ、田中富四郎常任顧問の発声で元気よく乾杯。まずは酒と料理を楽しみながら、各々歓談した後、参加者の紹介と挨拶をいただく。



支部活動と 大学の発展に寄せて

東洋大学校友会 浅窪壮一 (S40・経済卒)
東京城東支部長

城東支部の皆様、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

支部会報「城東EPOCH」も第16号の発刊となり、支部校友の皆様にお届けできますこと、役員一同の喜びでございます。この会報は年間支部活動の集大成であり、校友同志の心の絆をしっかりと結ぶ会報誌に成長してまいりました。これもひとえに会員のご尽力の賜物と感謝致しております。

また、大学の発展とともに学生の学術、文化活動、特に運動部の活躍が大きな感動を共有できる成果を納め、校友に大きな勇気を与えてくれたことです。そのなかでも硬式野球部は年間4冠達成(東都リーグ春と秋、全日本、明治神宮大会)、東都リーグでは4連覇し黄金時代到来、本年正月の箱根駅伝では往路、復路、総合ともに初優勝で、見事完全優勝、感謝の気持ちで駆け抜けた217.9キロ、アイススケート部ホッケー部門では3度目の年間3冠達成(関東選手権、関東リーグ戦、インカレ)など数々の偉業達成。これらの成果について、学生は無論のこと、大学、校友、浦水会、OB、監督指導者のたゆまぬ努力と熱い情熱があったから達成できた結果と信じています。

校友会員の喜びは親睦の輪を広げ大学、校友、浦水(父母)会が共通の認識を共有し、今日より明日に向かって相互の英知を搾り、この未曾有の厳しい時代を乗り越え栄光を勝ち取ることで。

支部活動はこれからも会員の忌憚のないご意見をお聞かせ願ひ「支部の活動モットー・明るく、楽しく、民主的」に沿ひ支部活動を進めてまいります。今後とも会員皆様の積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。

会場の都合で音楽がかけられなかったが、アトラクションの今井杏羽子さんのアカペラで「よいとまけの歌」に全員感動した。

高田氏の絶妙な司会進行により全員の紹介と挨拶も済み、城東支部恒例のゲーム大会に、出席者が景品を持ちよりジャンケンで多く勝った者から順に好みの景品をいただく。これで大いに盛りあがった懇親会は、福田武明氏の「フレー、フレー」のエールで最高潮に達し、最後に米津照男副支部長の閉会の辞でお開きとなった。

乾杯の音頭を元気よく御発声いただいた田中富四郎常任顧問の御冥福を心よりお祈り申し上げます。野中健司(S52・経済卒)

平成20年度支部活動のあらまし

●支部総会

平成20年 6月21日(土) 台東区民会館

●役員会

平成20年 7月26日(土) 浅草・ういんく(13名)
9月11日(木) 浦水会館201号室(13名)
10月16日(木) 浦水会館201号室(10名)
12月11日(木) 浦水会館201号室(15名)
平成21年 2月 5日(木) 浦水会館201号室(14名)
[城東エポック]編集会議
4月 2日(木) 浦水会館201号室(13名)
[城東エポック]編集会議
5月14日(木) 浦水会館401号室(15名)
[城東エポック]発送作業

●行事・活動

平成20年 7月12日(土) 三須さんを偲ぶ基飾白山会
柴又・亀家本舗 浦水会6名 合計29名
9月21日(日) 高田和生さん京成電鉄株式会社
取締役就任を祝う会(柴又・川千家)

●地区活動

平成20年 7月26日(土) 隅田川花火大会、小幡方屋上
支部長以下16名、東洋大OB等11名、
浦水会3名、合計30名
12月23日(火) ミニ基飾白山会・柴又亀家本舗

浦水会5名を含め35名
11月 9日(日) 第12回JOTO歩こう会
支部長以下18名(浦水会6名)
平成21年 1月 2日(金) 第85回東京箱根間往復大学駅伝競走、
~3日(土) 総合優勝。陸上部員の不祥事のため
集団応援は中止、各自さまざまな形で応援
1月20日(火) 賀調交歓会 白山スカイホール
田淵常務、佐藤陸上競技部監督代行、
浦水会13名、合計53名
2月11日(水) 「川越に駅伝の優勝旗を見学に行く」
浦水会18名、合計35名
3月12日(木) 箱根駅伝優勝祝賀会に参加、グランド
プリンスホテル新高輪
浦水会5名、校友会7名

●浦水会城東支部主催の行事参加

大滝会長以下14名(浦水会4名)
平成20年 6月 8日(日) 浦水会城東支部総会(校友会から3名)
9月27日(土) 第11回文学鑑賞会 浦水会37名、
校友会(田中常任顧問以下3名)合計40名
12月 6日(土) 講演会 講師 大藏雄之介元
東洋大教授 演題「国際化につ
いて」総数45名、校友は4名
平成21年 1月31日(土) 浦水会新年会 浦水会19名、
校友会から4名、合計23名

●その他

平成20年 6月 8日(日) 第15回チャリティーコンサート
今井杏羽子&今井満 四谷区民ホール
芸人生活35周年記念・第83回
10月23日(木) 林家時蔵独演会 深川江戸資料館
平成20年度校友大会、ホームカミングデー
11月 2日(日) 第25回読売書法展・国立新美術館、
8月23日(土) 内山吉子さん展示 参加者支部長以下5名



第31代 東洋大学理事長に

長島忠美氏(旧山古志村村長
現衆議院議員)が就任

学校法人東洋大学は、3月末日で辞任された塚本正進前理事長の後任として、4月4日開催された臨時理事会において、学識側理事として推された長島忠美氏(58歳 S48・経済卒)を選任した。

校友出身としては第22代田中榮次理事長以来20年ぶり。任期は残任期間として平成21年12月6日まで。

新年賀詞交歓会

箱根駅伝完全優勝で盛り上がる

— 陸上競技部・佐藤監督代行をお招きして —

平成21年1月20日、恒例の賀詞交歓会が18時30分から白山スカイホールで開催された。

射手副支部長の司会により、開会の辞、野中副支部長の発声による校歌斉唱、浅窪支部長挨拶、田淵常務理事挨拶、岩田甫水会支部長挨拶の後、待ちに待った佐藤監督代行の優勝スピーチ。

今回の賀詞交歓会は例年と異なり、定刻よりも早く多くの会員が集まった。早く集まったと言うよりも待ちきれなかったのではないかと思われた。

田淵常務理事、志賀幹事、沖山会計担当をはじめ多くの会員が箱根駅伝の完全優勝を伝える新聞、週刊誌等をたくさん持参し、開催前から新聞等を見ては「良かった」、「すごかった」、「感動した」と語り、壁一面に張られた栄光のなかでの新年賀詞交歓会であった。

今回の賀詞交歓会のメインイベントは、何と言っても、浅窪支部長の幹な計いで初参加以来の念願であった箱根駅伝での総合優勝を導いた陸上競技部佐藤監督代行の勝つための作戦、裏話などを直に支部の皆様にお聞かせしたいという思いから実現した企画であった。そのために何と50数名を数える参加者で私が知る限



佐藤監督代行(写真上)と参加者全員の記念撮影

城東支部役員名簿

H.21.4.1現在

役職	氏名	卒年・科目	自宅電話	携帯
顧問	葛 大滝 恵三	35・経済	3690-7691	
支部長・代議員	江戸川 浅窪 社一	40・経済	3877-5259	090-1459-9758
副支部長	台 野中 健司	52・経法	3888-2801	090-8027-9077
同 墨・代議員	武田 勇蔵	54・経営	5819-8361	090-8599-2422
同 東洋大学評議員	米津 照男	48・経営	3632-2487	090-6524-5054
同 葛飾・代議員	山田真理子	39・応社	3691-5078	080-3008-9021
同 事務局長	江戸川 射手 克己	47・応化	3650-4762	
同 会計	墨 沖山 英子	41・社会	3612-6978	080-5501-6978
同 監査	葛 緒方 剛	53・法律	3604-1071	090-5588-9315
同 代表幹事	墨 林家 時蔵	47・国文	3633-7961	090-7014-4700
同 幹事	葛 高田 和生	47・経営	3603-4331	
同 台	松島 文雄	46・経営	3841-1886	
同 墨	鈴木 節子	45・法律	3613-3292	FAXは欄に188を
同 墨	宮崎 昌行	52・経済	3617-8354	090-3535-5083
同 江東	荒枝 俊雄	44・法律	3645-5371	090-8343-8882
同 江東	市川 隆	51・経済	3699-7685	090-3204-5910
同 葛	福田 武明	42・法律	3695-1403	090-3407-8611
同 葛	志賀 保彦	45・社会	3695-6091	090-3312-9003
同 葛	松岡 正俊	47・建築	3609-1516	090-5431-1648
同 葛	久保田裕己	48・社会	3691-5382	090-5580-1507
同 葛	高谷 健治	49・建築	3691-1716	090-4756-4752
同 江戸川	今井杏羽子	44・国文	3675-2197	090-9940-8461
同 江戸川	澤田 真	44・経営	3684-2876	
同 江戸川	吉川ふみ子	49・国文	3637-9383	FAXは欄に188を
同 江戸川	内山 浩和	50・国文	3671-9646	
同 江戸川	川口 浩	H3・商学	3688-5348	
同 江戸川	水野 盟三	H19・院国際観光	6666-8360	090-9019-0087

りでは過去最高であった。

山登りを制する大学が箱根を制すると言われている通り、5区の柏原選手による見事な走りにより往路優勝を果たすことができた。

佐藤監督代行は2位の早稲田に復路でも勝つために6区では主将の大西選手から富永選手に交代するなどメンバー編成を思い切って変更、また早稲田の焦りを上手く引き出す戦術など勝つための作戦に徹し、見事に復路も優勝、そして我が母校に悲願の初優勝をもたらしてくれた。

優勝がほぼ確実な状況になった時点で、4年の選手から佐藤監督代行に胴上げしていいかとの問い合わせがあったが、佐藤監督代行は自粛するようにとだけ言ったそうだ。選手は最後に一列になり、ゴールに向かって感謝の一礼を行った行動が余程嬉しかったようであった。

興味津々のスピーチの後に、「佐藤監督代行は監督にはならないのか。」との質問に、「今回の箱根駅伝で活躍した選手のほとんどは、自分がスカウトしてきた選手であり、今後も選手発掘育成に力を入れてゆきたい。」とのこと。

優勝スピーチのあと大滝顧問による乾杯から懇親会へと続き、例年になく盛り上がりとなり、沖山さん、緒方さんの発案により、川越の合宿所に優勝旗及び学生の練習を見学に行くこととなった。(その記事は最終ページに掲載)

高田代表幹事の司会で全員の近況報告、時蔵師匠による小話、今井杏羽子さんによるシャンソン、恒例のジャンケンゲーム、時間の経つのも忘れる楽しいひと時であった。

箱根駅伝優勝バンザイ!!

武田勇蔵(S54・経営卒)